

平成27年度 地域枠医師の配置に関するアンケート調査結果

(調査対象：県内の医療機関(23機関)のうち、20機関の集計結果)

1 医師数の現況等について

【現員医師数と求人医師数】

【現員医師数】

調査票の提出のあった医療機関の現員医師数は、常勤が871人、非常勤(常勤換算)が144.2人であった。

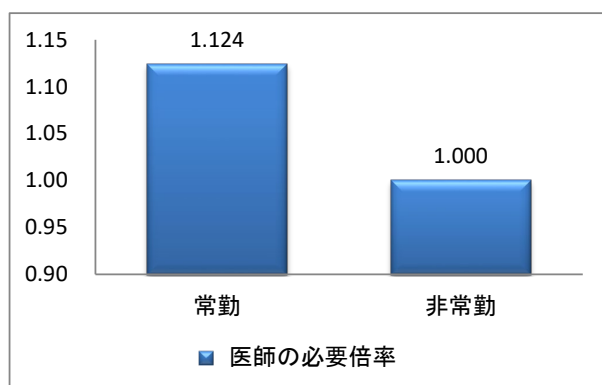
【求人医師数】

調査票の提出のあった医療機関の求人医師数は、常勤が108人、非常勤(常勤換算)が0人であった。

〔必要医師数と倍率(県全体)〕

必要医師数(現員医師数+求人医師数)は、常勤が979人であり、現員医師数に対する倍率は1.124倍であった。また、非常勤の必要医師数は、144.2人であり、現員医師数に対する倍率は1倍であった。

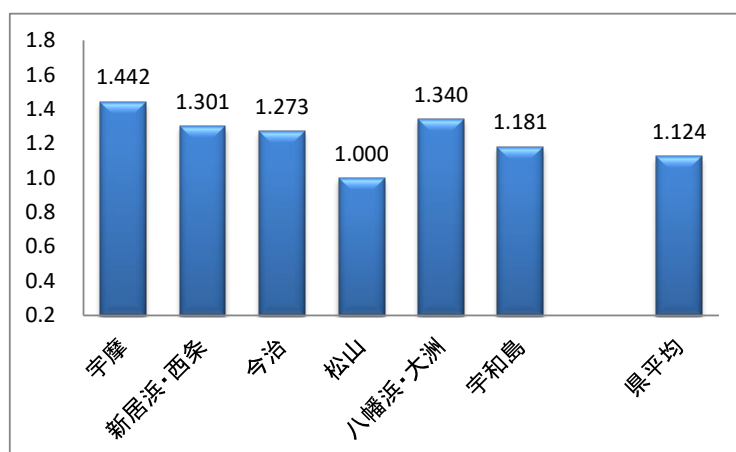
区分	現員医師数 A	求人医師数 B	倍率 (A+B)/A
常勤	871	108	1.124
非常勤	144.2	0.0	1.000
計	1,015.2	108.0	1.106



〔常勤医師の必要倍率(医療圏別)〕

現員医師数に対する必要医師数の倍率が高い医療圏域は、宇摩圏域が1.442倍、八幡浜・大洲圏域が1.340倍、新居浜・西条圏域が1.301倍、今治圏域が1.273倍、松山圏域が1.000倍であった。

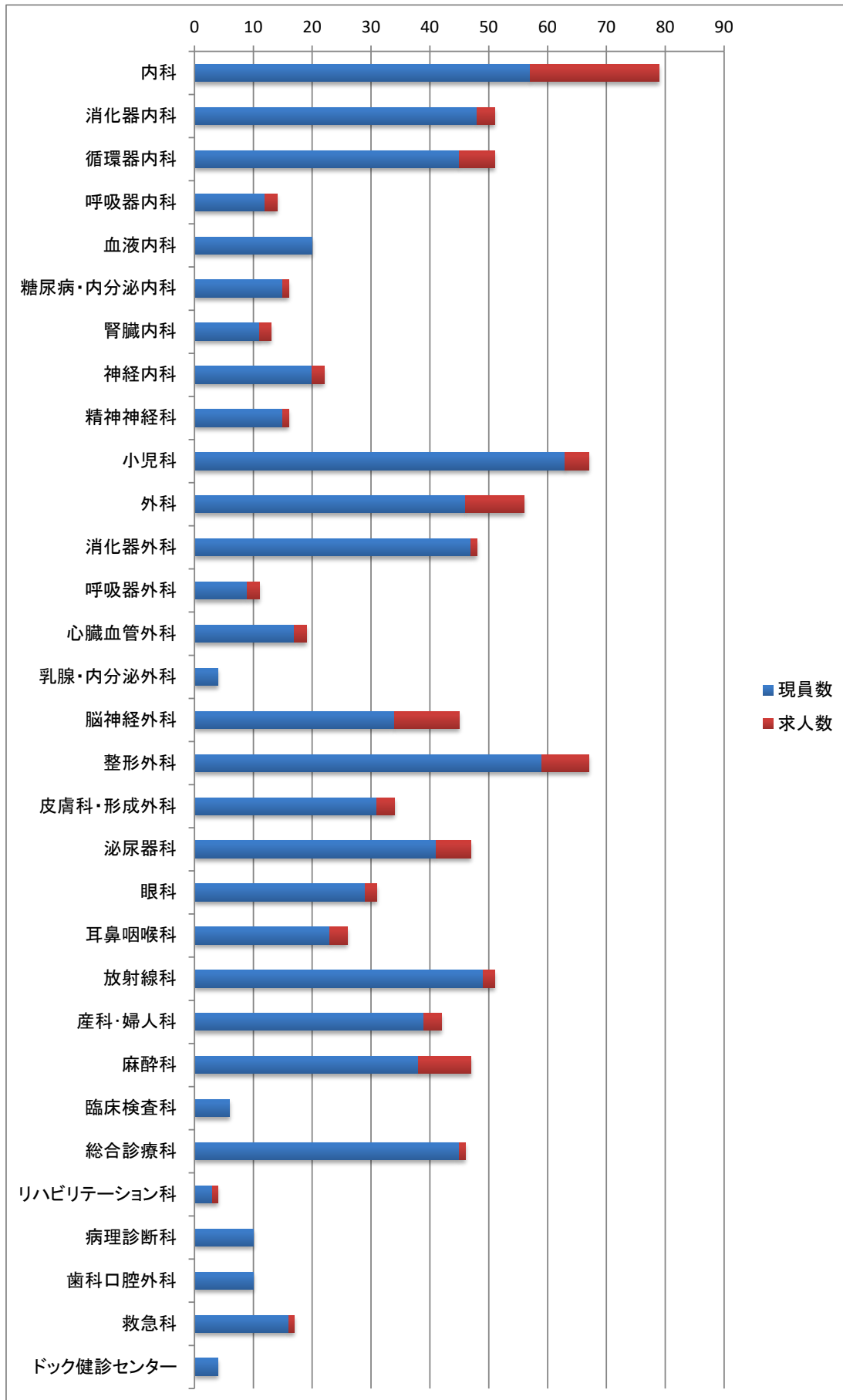
〔常勤医師の必要倍率(医療圏別)〕



〔常勤医師の必要数と倍率（診療科別）〕

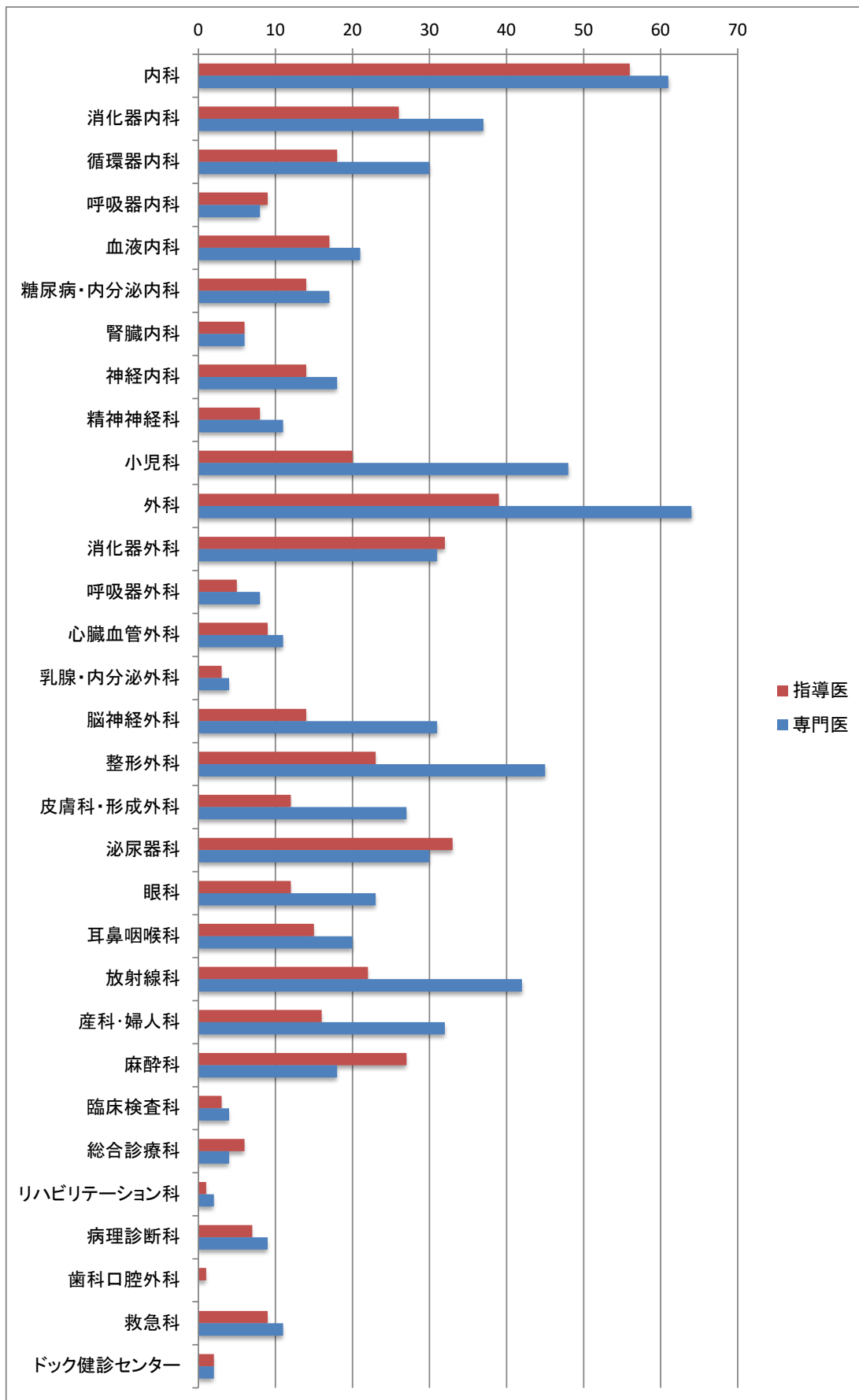
現員医師数に対する必要医師数の倍率が高い診療科は、内科 1.386倍、脳神経外科 1.324倍、麻酔科 1.237倍、外科 1.217倍などであった。

必要医師数の状況（診療科別）

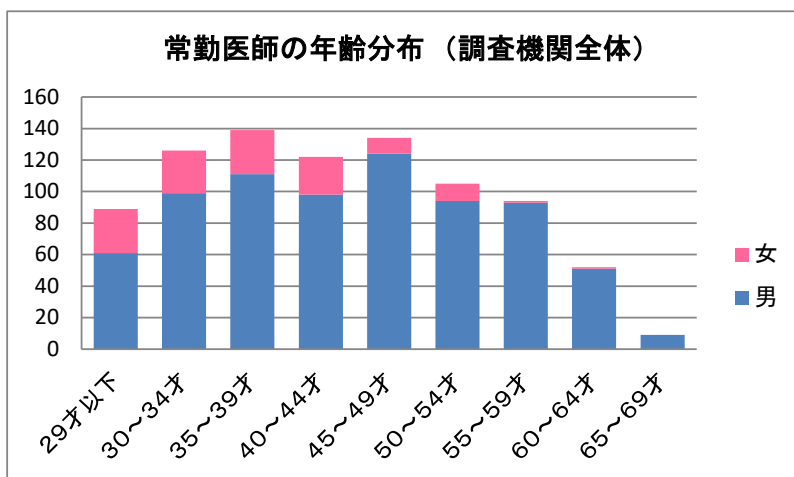


2 教育指導体制について

【指導医・専門医数】



【 常勤医師の年齢分布 】



【 医療圏域ごとの年齢分布 】

